

(別 紙)

リビング見守り AI システム研究開発仕様書

リビング等の集合生活場所において、高齢者の行動を認識し、また少し先の将来行動を予測し、介護職員にアラートを通知することで転倒事故防止等に寄与するシステム等の研究開発

[研究開発に係る留意点]

- (1) ディープラーニング技術、動画・画像解析について既知の技術の活用とあわせて新しく技術の研究開発の実施を含む
- (2) 最終的な広範囲導入を鑑みて設置コスト、システム構成などに留意したシステム研究開発を含む
- (3) システム操作対象となる介護士のユーザーエクスペリエンス(UX)の効率的・効果的設計を含む
- (4) 開発に際しては、上記 UX の開発、及び WEB アプリケーションもしくは android/iOS アプリケーションのクライアント及びサーバーのシステム開発・運用を含む

[開発システム、アプリケーションに係る留意点]

- (1) 市販センサーカメラと市販 PC を活用したユニット型特養等のリビングを見守るシステム
- (2) リアルタイムにクラウド型サーバーに通信
- (3) ユーザインターフェース(UI)は iOS ネイティブアプリ。OS のバージョンは納品日時点最新。対応端末は iPhone7/8/XS/XR
- (4) 検知範囲のリビングは 20～30 平米程度で 10 名以下の入居者、3 名以下の職員等が同時に存在する空間
- (5) 検知対象行動は、入居者の立ち上がり/転倒/転落/離設等とする。なお立ち上がり、転落、離設については予知を可能とする
- (6) 通知設定は、入居者個別に標準設定が行え、即座に利用者ごとに通知有無を切り替えられる
- (7) 行動検知・予知における誤報率は概ね 20%以下目標とする。なお誤報とは、当法人内職歴 1 年以上の介護士が誤報と認める通知を言う
- (8) 行動検知・予知における失報率は 1%以下目標とする。
- (9) UI のユーザビリティは、スマートフォンを普段使用していない介護職員へ 20 分程度のレクチャーと 3 日程度の試用により、使いこなすことが出来るレベルとする。
- (10) 通知音声は、検知対象行動により異なるものとする。
- (11) iOS プッシュ通知から 1 タップ後でアプリケーション内にて映像確認が出来る UI とする。
- (12) ログデータ（通知および通知前後 15 秒以上の映像）はアプリケーション内にて確

認できるものとする。

[納品物]

- (1) 月次報告書
- (2) システム、アプリケーション仕様書
- (3) システム、アプリケーション一式
- (4) ユーザマニュアル

[実施期間]

- (1) 契約日より 1 年間

以上